

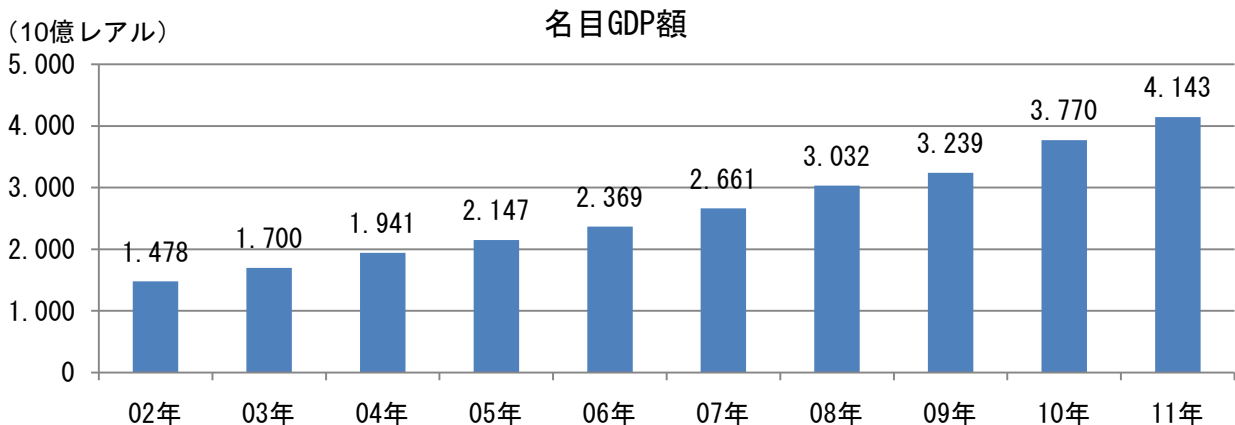
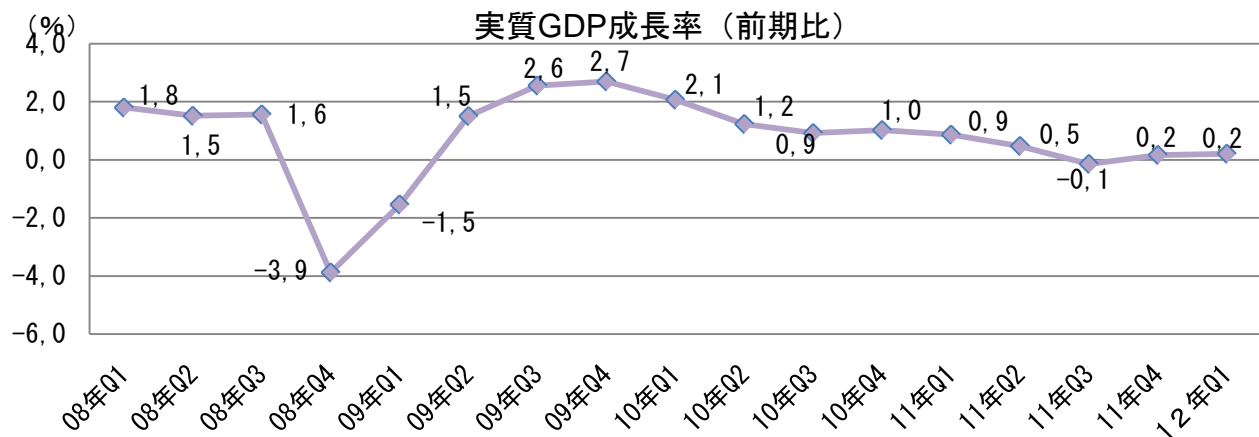
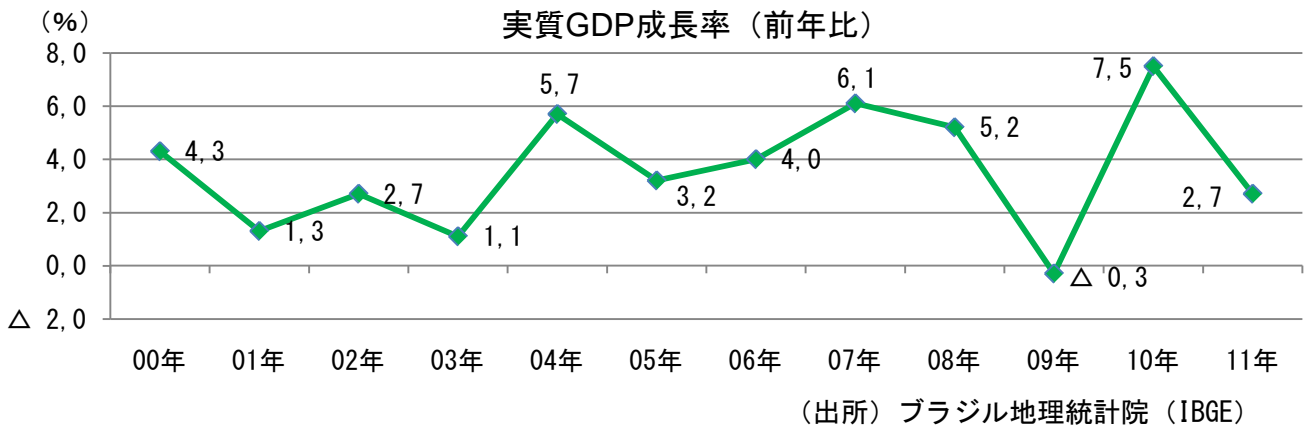
ブラジル経済（概要）

2012年6月

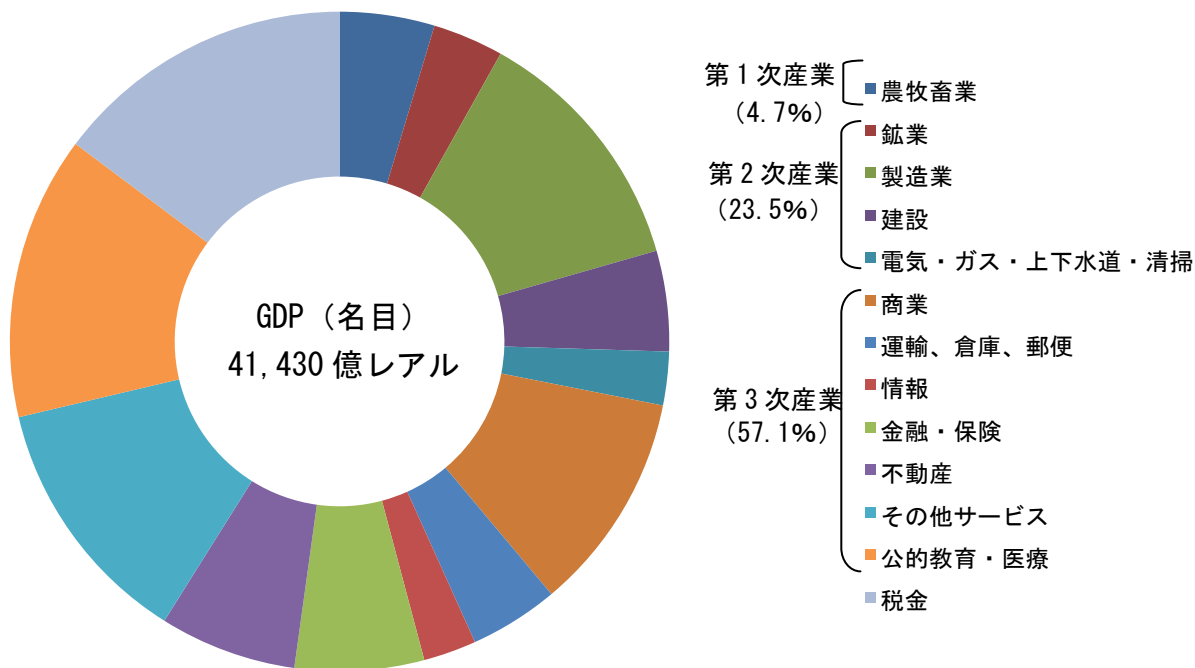
在ブラジル日本国大使館

1. GDP 成長率

2011年実質GDP率は、2.7%（2010年7.5%）と低調であった。2012年第1四半期GDPについても低調であり、中銀Focus（6月1日）の2012年GDP成長率予測は2.72%（2013年は4.5%）。



2011年セクター別 GDP (名目) 構成比



(出所) ブラジル地理統計院 (IBGE)

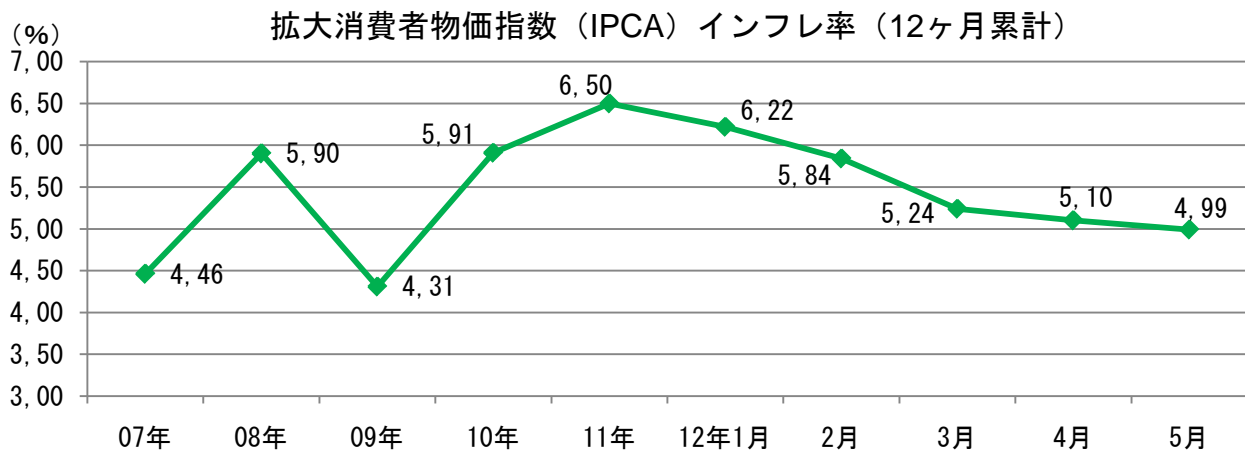
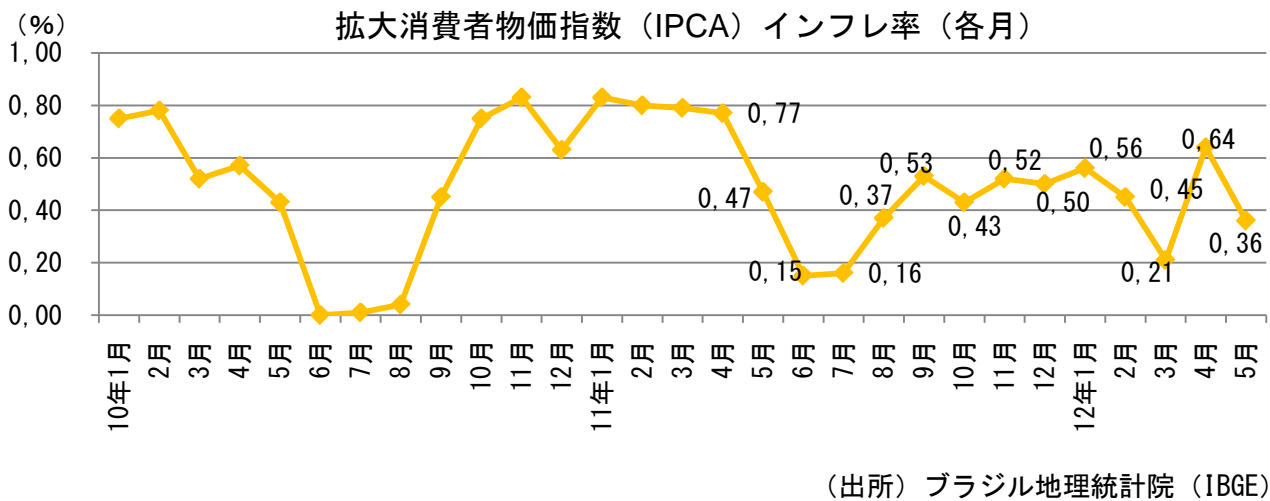
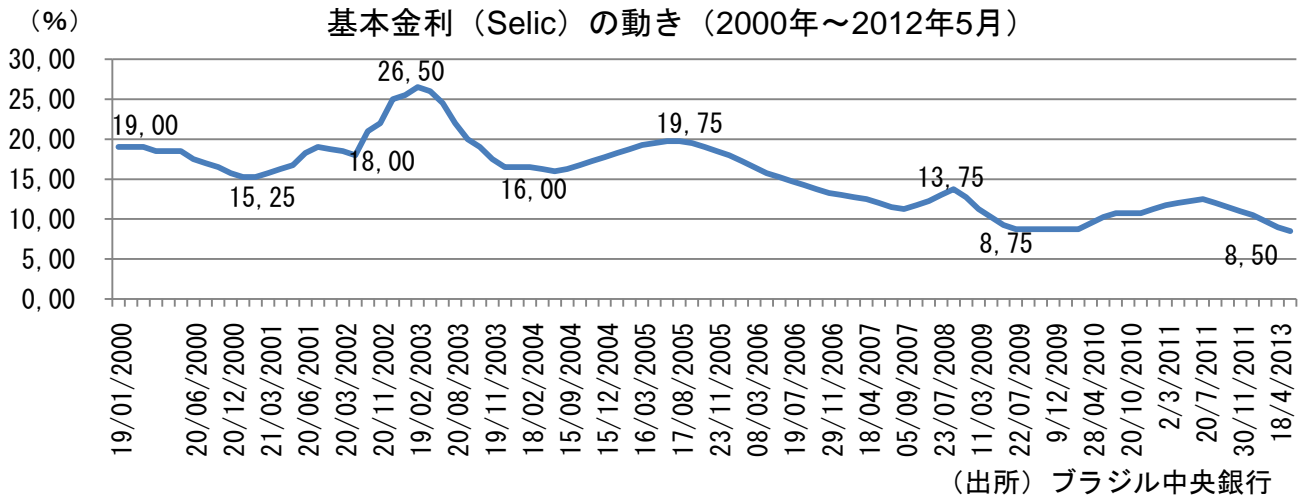
株価指数 (Bovespa)



(出所) B&M BOVESPA

2. 金利, インフレ動向

5月30日、基本金利 (Selic) は0.5%引き下げられ、8.50%となり、リーマンショック後の8.75%を下回る水準となった。7月10、11日の通貨政策委員会 (Copom) においても、Selicは引き続き下げられると見込まれている。



(注) 10年までは12月時点の12ヶ月累計

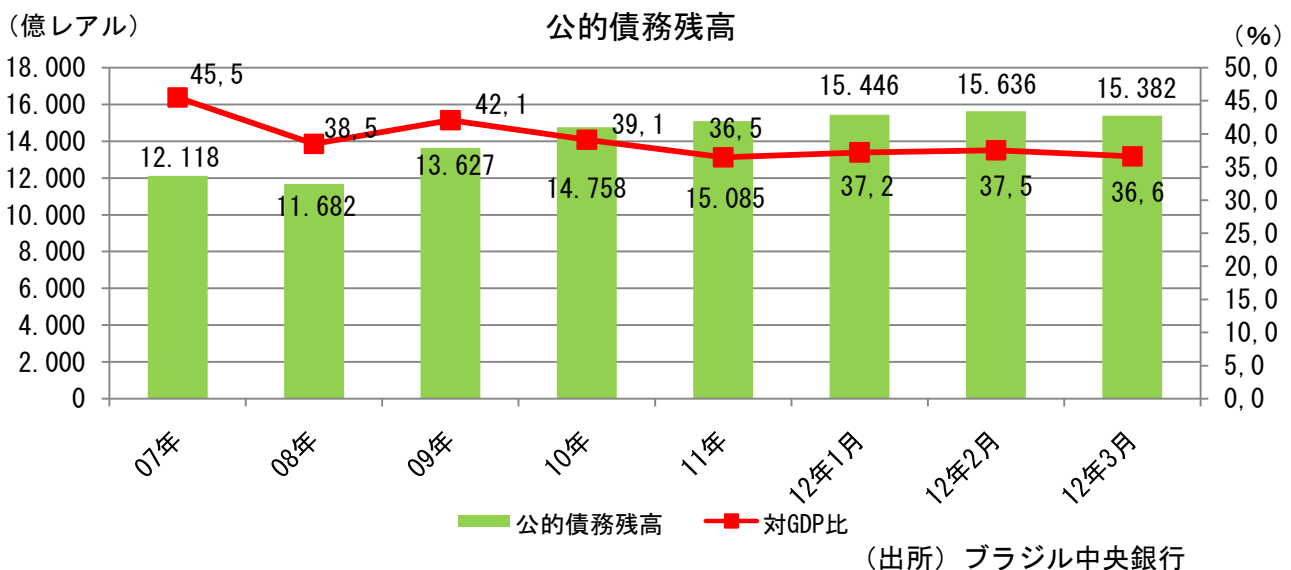
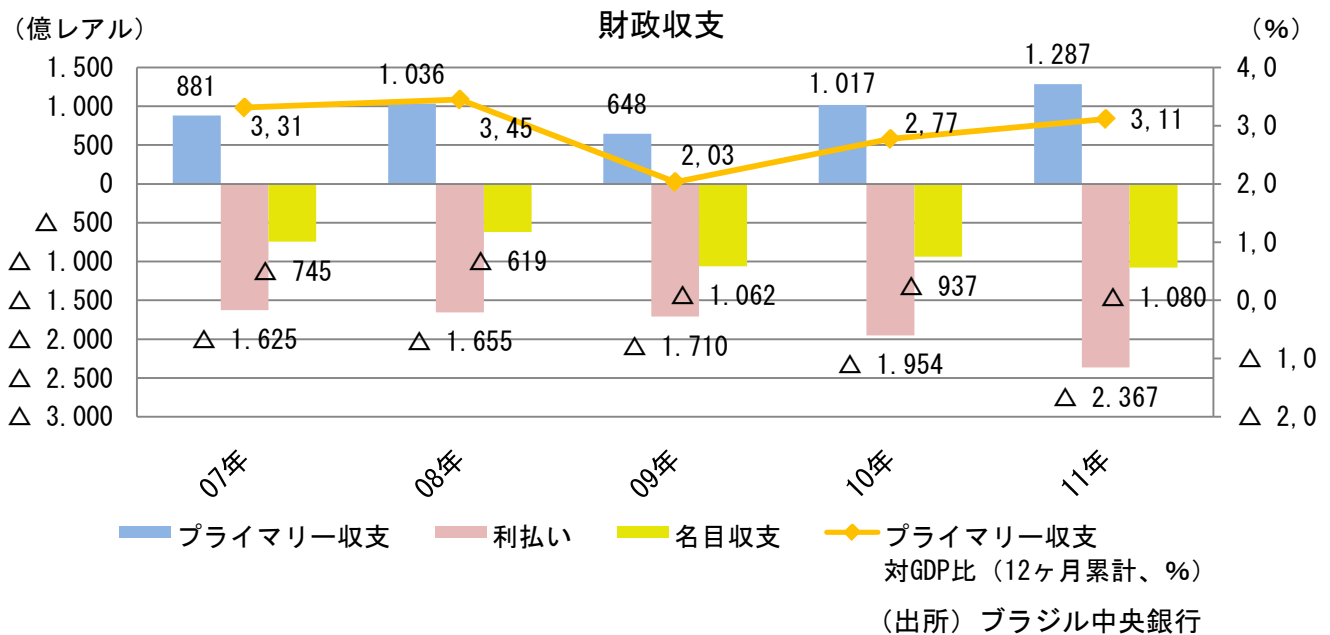
(出所) ブラジル地理統計院 (IBGE)

3. 財政収支

ブラジル政府の財政は、好調な税収等により、順調であり、2011年のプライマリー収支（対GDP比）は+3.11%であった。なお、2012年のプライマリー収支黒字目標は、1398億レアル（対GDP比：3.1%）である。

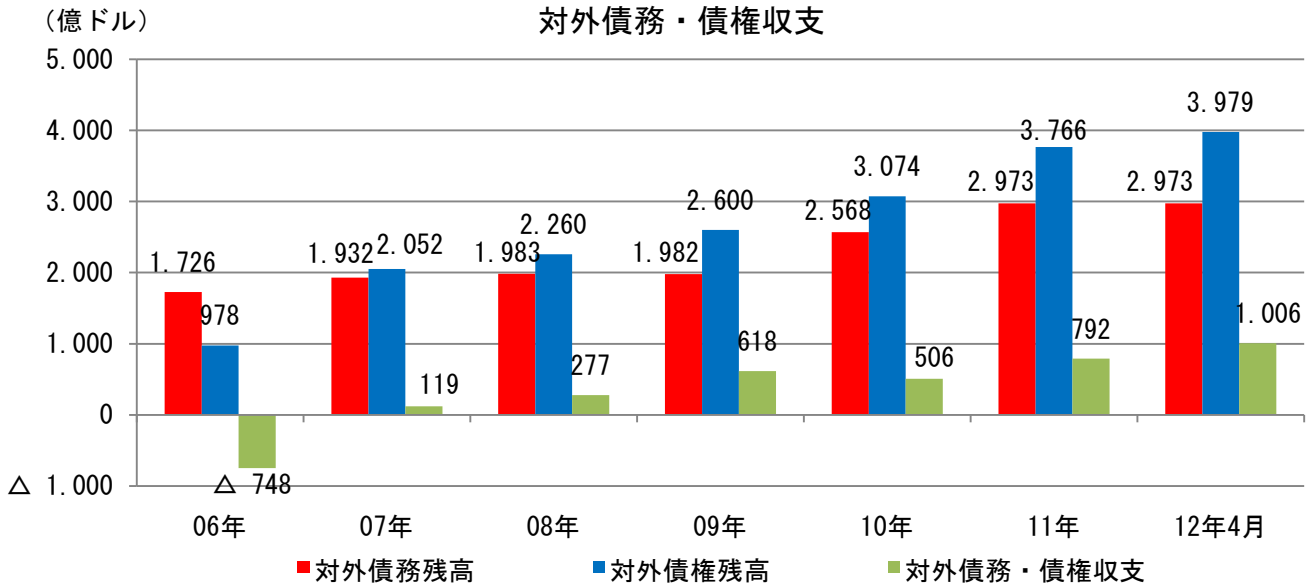
	12年1～4月
プライマリー収支(億レアル)	602
利払い(億レアル)	△762
名目収支(億レアル)	△160

プライマリー収支 対GDP比(12ヶ月累計、%)	3.11
-----------------------------	------



4. 対外債務

過去に大幅な対外債務に苦しんだブラジルであるが、07年に対外債権（外貨準備高、海外融資等）が対外債務を上回り、純債権国となっている。

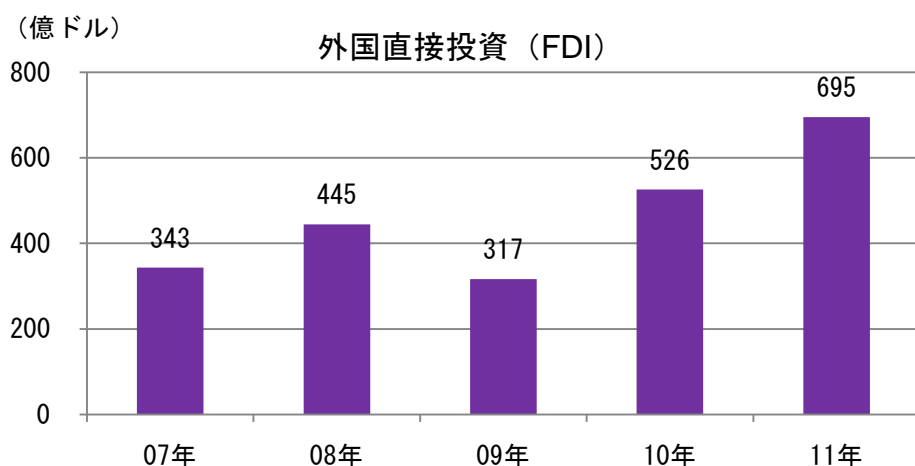
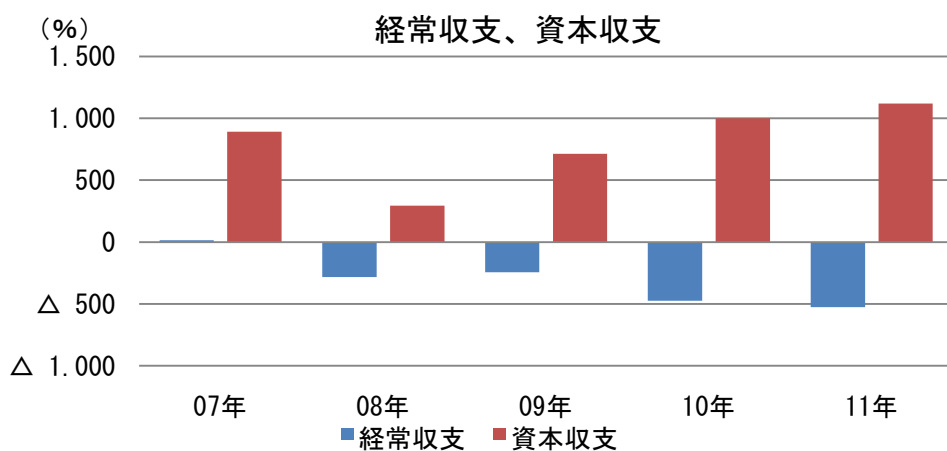


(出所) ブラジル中央銀行

5. 国際収支

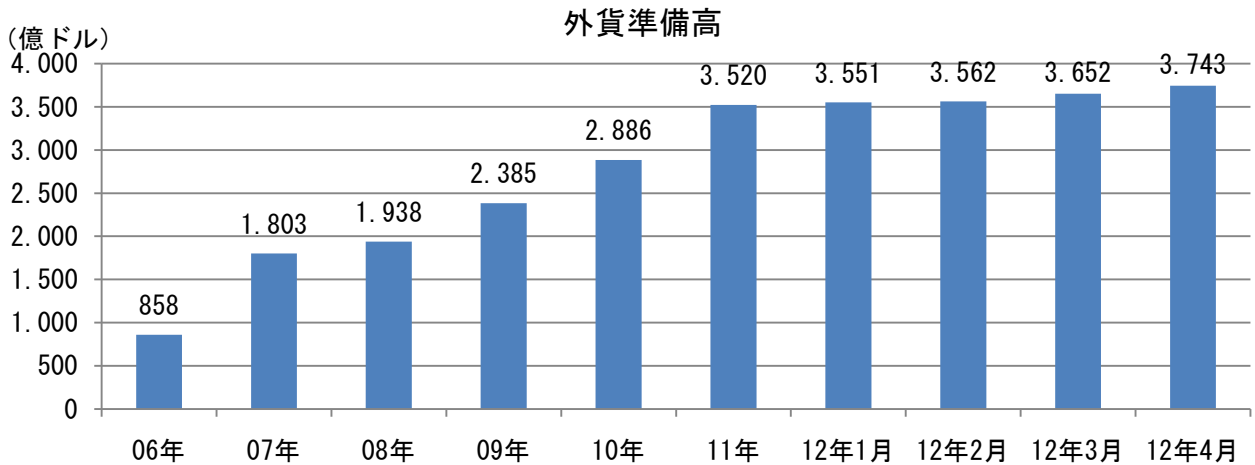
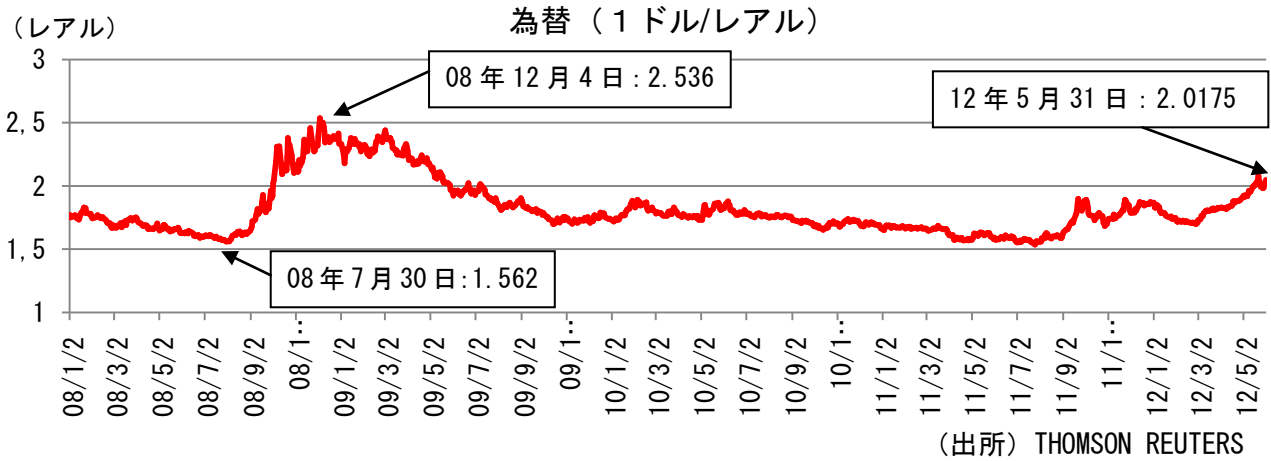
今年1～4月までの経常収支赤字（175億ドル）は前年同期赤字（184億ドル）と比べ、5%減少した。今年4月（単月）の貿易収支（+9億ドル）は、前年同月（+19億ドル）の半分以下となった。今年1～4月の外国直接投資は171億ドルであり、前年同期（233億ドル）より26%減少した。

(単位) 億ドル	07年	08年	09年	10年	11年	12年1～4月
経常収支	16	△ 282	△ 243	△ 475	△ 526	△ 175
貿易収支	400	248	253	203	298	33
サービス・所得収支	△ 425	△ 573	△ 529	△ 706	△ 852	△ 217
経常移転収支	40	42	33	28	28	9
資本収支	891	294	713	1001	1119	358
投資収支	883	283	702	990	1103	353
直接投資	275	246	360	370	760	268
対外直接投資	△ 71	△ 205	101	△ 115	93	72
対内直接投資	346	451	259	485	667	196
証券投資	484	11	503	645	251	33
デリバティブ	△ 7	△ 3	2	△ 1	0	△ 0.1
その他投資	131	29	△ 163	△ 23	92	51
その他資本収支	8	11	11	11	16	5
誤差・脱漏	△ 32	18	△ 3	△ 35	△ 6	18



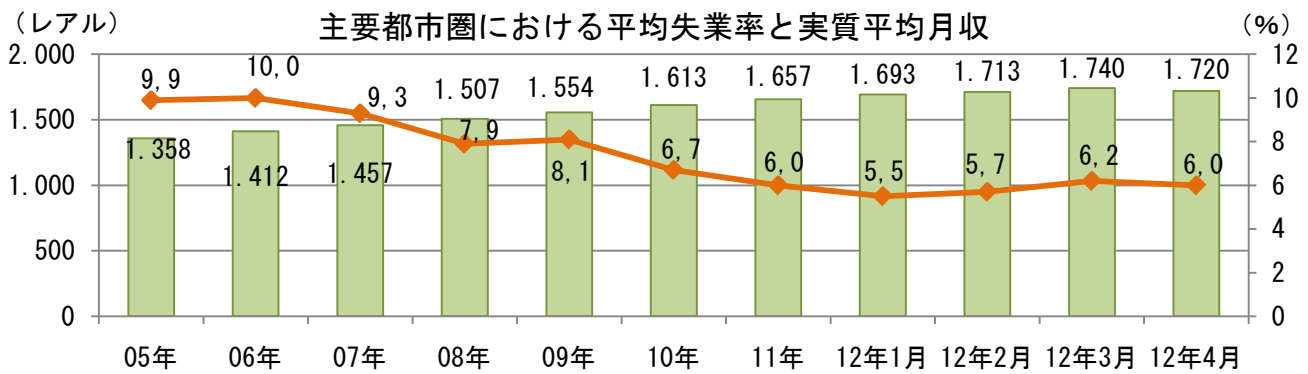
6. 為替, 外貨準備高

マンテガ財務大臣はドル高はブラジル産業の競争力にとって好ましい旨述べている。レアルの対ドル為替レートは、5月15日に1ドル/2.0015レアルと2レアル台に到達した。中銀による為替介入により、一時的に為替レートは1.9レアル台に戻ったが、再び2レアル台に戻った。



7. 労働市場

経済成長が鈍化している中、4月失業率は3月よりも低下した。また、4月の平均月収については、3月よりも△1.2%となり、特に工業と建設業が各々前月比で、3.8%、3.9%下落した。



(注) 11年までは年平均値

(出所) ブラジル地理統計院 (IBGE)

* 主要都市圏：サンパウロ、リオデジャネイロ、サルバドール、レシフェ、ペロオリゾンチ、ポルトアレグレ